2026年11月5日

各　位

会 社 名　　三菱ケミカルグループ株式会社
代表者名　　代表執行役社長　筑本 学
（コード：4188 東証プライム市場）

［報道関係］
コーポレートコミュニケーション室
TEL. 03-6748-7140
問合せ先　　［IR 関係］
IR 室
TEL. 03-6748-7120

（開示事項の変更）炭素材事業の継続に関するお知らせ

当社は、2026年２月２日付「コークス及び炭素材の事業撤退に関するお知らせ」において、当社の連結子会社である三菱ケミカル株式会社の炭素事業におけるコークス及び炭素材(ニードルコークス、ピッチコークス)から事業撤退することを公表いたしました。

その後、AI、データセンター関連ビジネスの急激な拡大に伴い、ピッチ系炭素繊維事業について改めて検討を行った結果、炭素材事業については炭素繊維の原料確保及び品質確保の必要上、事業を継続することを本日開催の執行役会議において決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．変更の経緯及び理由

当社は、2026年２月２日付「コークス及び炭素材の事業撤退に関するお知らせ」において、コークス及び炭素材（ニードルコークス、ピッチコークス）事業から撤退し、設備撤去を進めることを公表しておりました。

一方、その後も継続する予定としていたピッチ系炭素繊維事業については、当初は他社原料を使用することを前提としておりましたが、検討を進めた結果、他社原料では当社が目標とするピッチ系炭素繊維の性能を達成することが困難であることが判明しました。

このため、ピッチ系炭素繊維の競争力を維持・強化するためには、その原料製造技術及び設備を自社内に維持することが不可欠であると判断し、香川事業所において撤退を予定していた炭素材（ニードルコークス、ピッチコークス）事業を継続することといたしました。

２．三菱ケミカル株式会社の概要

（1）	名　　称	三菱ケミカル株式会社
（2）	所 在 地	東京都千代田区丸の内一丁目１番１号
（3）	代表者の役職・氏名	代表取締役社長　筑本 学 代表取締役　下平 靖雄 代表取締役　櫻井 和光
（4）	事 業 内 容	機能商品、素材他
（5）	資 本 金	532億29百万円

３．変更の内容

（変更前）

- コークス及び炭素材（ニードルコークス、ピッチコークス）事業から撤退
- 2027 年度下期に生産停止後、関連設備の撤去を進めるとともに、順次販売終了

（変更後）

- ピッチ系炭素繊維の原料製造に必要な設備を維持・改修
- 炭素材（ニードルコークス、ピッチコークス）は、生産及び販売を継続してまいります。但し、設備の改修工事のため 2027 年度下期に生産を一時休止し、再稼働は 2028 年度下期となる見込みにて、お客様とは今後のお取引に関して個別にご相談させて頂きます。

※なお、コークス事業については、2026 年２月２日付「コークス及び炭素材の事業撤退に関するお知らせ」にて公表した方針どおり撤退し、2027 年度下期に生産停止後、関連設備の撤去を進めるとともに、順次販売終了予定です。

４．今後の方針

本決定により、ピッチ系炭素繊維の品質安定化及び供給体制の強化を図るとともに、5G／6G 通信インフラ、AI サーバー、データセンター向けの熱マネジメント用途に加え、高弾性率及び優れた寸法安定性を活かした宇宙関連用途など、成長性の高い市場への展開を加速してまいります。

また、炭素材（ニードルコークス、ピッチコークス）に関しましても、お客様と今後のお取引に関して個別にご相談させて頂きながら取り進めてまいります。

５．業績に与える影響

当社は、2026 年２月２日付「コークス及び炭素材の事業撤退に関するお知らせ」に関連して、前連結会計年度にリストラクチャリング引当金を約 597 億円計上しております。本件により、当初見込んでいた設備撤去費用及び特別退職金の一部が不要となる見込みであることから、2027 年３月期第３四半期決算において、リストラクチャリング引当金の戻入として約 90 億円の非経常利益を計上する予定です。なお、正確な影響額については現在精査中ですが、当該影響は、本日公表の 2027 年３月期通期連結業績予想に織り込み済みです。

以　上